

記者発表(配付)資料

令和 7 年 5 月 2 日

所属部課	部長	館長	統括専門職	担当	連絡先
萩市 商工観光部 萩博物館	藤原章雄	大槻洋二	伊藤靖子 道迫真吾	川原康寛	0838-25- 6447

件 名	萩博物館調査研究報告書第 20 号の発行について
-----	--------------------------

萩博物館では、例年、学芸職員の調査研究活動の成果を市民に広く還元するため、『萩博物館調査研究報告』を発行しています。この度、第 20 号を発行しましたので、お知らせします。

1. 書籍名：萩博物館調査研究報告 第 20 号 (ISSN1880-7992)

2. 内 容：

【博物館学】

1) 昆虫を題材とした STEAM 教育ワークショップの試み

執筆者：川原康寛

概 要：萩博物館では、近年、博物館業界で積極的に導入されている STEAM 教育※の手法を応用し、主に低年齢層の子供が身近な自然を楽しみながら学ぶことのできるコンテンツとして、昆虫を題材としたワークショップを実施した。本稿では、当ワークショップ参加者から集められたアンケートの結果を分析し、その効果を考察した。

※STEAM 教育：「科学」(Science)、「技術」(Technology)、「工学」(Engineering)、「数学」(Mathematics)の 4 つの分野を統合的に学ぶ STEM 教育に、「芸術・リベラルアーツ」(Liberal Arts)」を加えたことによる学問領域の横断的な学習のこと

【自然科学】

2) 萩を含む山口県日本海沿岸における 2004 年以降 20 年間のタカラガイ科貝類の採集記録：— その 2: 2009～2013 年の記録

執筆者：堀 成夫・栗屋眞明・伊藤治美・植木功子・小野哲志・角村邦江・末永美智子・西村重代・吹上修身・山本憲二・景由武彦・川原康寛

概 要：NPO 萩まちじゅう博物館等と協働で実施してきた山口県日本海沿岸のタカラガイ類の採集調査のうち、昨年度は第一部として 2004～2008 年の結果を報告した。今回はそれに続く第二部として、2009～2013 年に採集

された計 20 種 90,355 個体のデータをまとめて報告する。

【人文科学】

3) 高杉晋作の畳具足

執筆者：一坂太郎

概要：2013 年、萩市の個人から萩博物館に寄贈頂いた高杉晋作が着用した甲冑（畳具足）の由来と、晋作が胴部分の裏布に記した決意につき、考察する。村田清風が作らせた甲冑で、晋作が奇兵隊結成時に着用していた事などを、史料から明らかにした。

4) 長州萩藩洋式軍楽関連史料の調査報告

執筆者：道迫真吾

概要：幕末維新期の日本では、幕府はもとより各藩が軍備の洋式化を進める過程で、西洋から銃砲などの兵器を採り入れるのみならず、部隊に指示・信号を出すための手段として、洋式の太鼓・喇叭^{らっぱ}・笛なども採用した。本報告は、長州萩藩が受容した洋式軍楽に関する研究を前進させるため、基礎的な史料の調査・収集の成果を公表するものである。

3. 編集・発行：萩博物館

4. 価格：1,500 円（税込）※萩博物館ミュージアムショップにて販売

5. 発行日：令和 7 年（2025）3 月 27 日

6. 仕様：A4 版、98 ページ、140 部

※報告書については、部数に限りがあるため、記者クラブ室に閲覧用を置いています。